

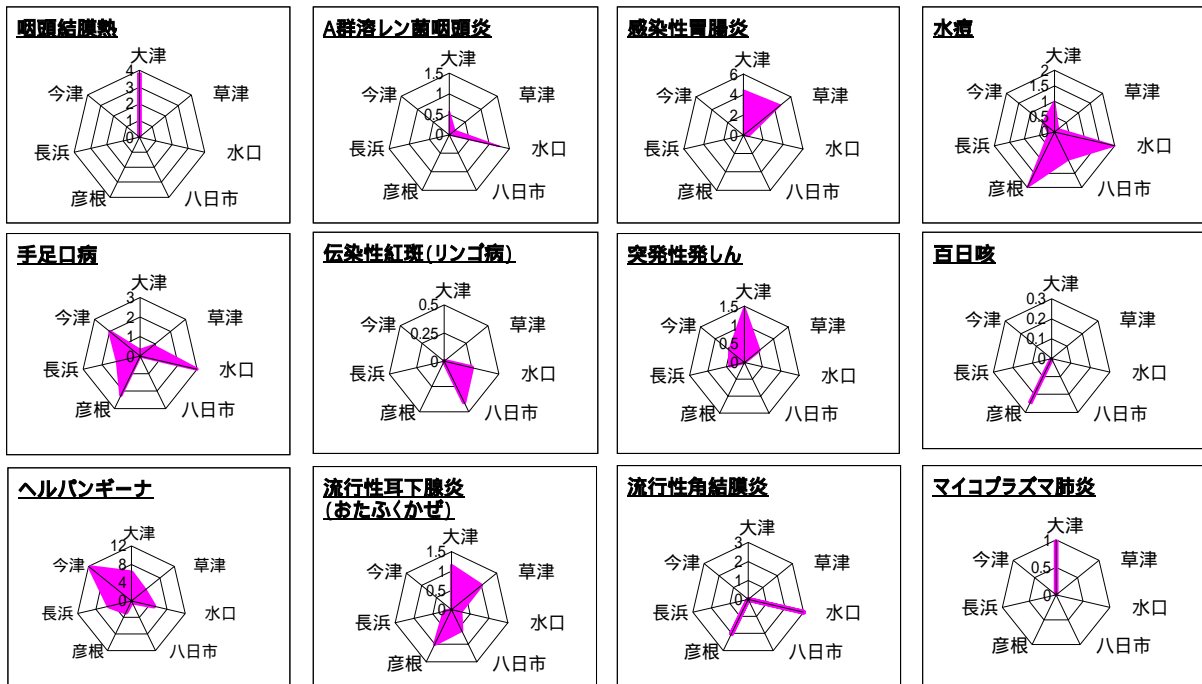


(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第29週、7/18～7/24)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.82	3.86	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	0.57	0.17	1.25	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1.85	4.43	4.67	0.50	0	0	0	0
水痘	0.94	1.00	0.17	2.00	1.00	2.00	0.20	0.50
手足口病	1.15	0.29	0.83	3.00	0	2.25	1.20	2.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0	0.25	0.40	0	0	0
突発性発しん	0.48	1.43	0.50	0	0	0	0.40	0.50
百日咳	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4.39	6.14	3.67	5.00	0.20	2.75	5.00	11.50
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.70	1.14	1.00	0.25	0.60	1.00	0.20	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.71	0	0	3.00	0	2.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

戻る



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。咽頭結膜熱は大津からの報告が多くなっていますが、他の保健所からの報告はありません。水痘については水口および彦根で多くなっており、流行性角結膜炎は先週と同様に水口および彦根から報告されています。また、百日咳は彦根から、マイコプラズマ肺炎は大津から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は増加

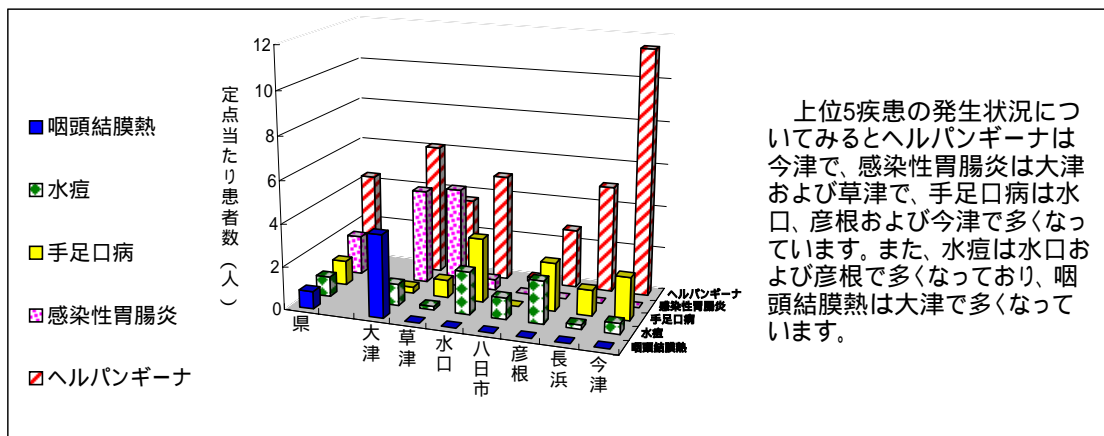
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(7月11日～7月17日)の報告数よりかなり少なくなっており、大部分の疾患は減少または横ばい状態となっています。今週、微増を示した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、流行性角結膜炎およびマイコプラズマ肺炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

**手足口病**については、先週の定点当たり患者数1.27よりやや減少し1.15となっていますが水口保健所管内では3.00と多くなっています。

**ヘルパンギーナ**については、先週の定点当たり患者数5.00よりやや減少し4.39となっていますが水口および長浜保健所管内では増加しています。また、大津および今津保健所管内においては先週に引き続き多い状態で推移しています。

#### 定点把握の対象となる5類感染症における上位5疾患の保健所管内別発生状況

(平成 17年第29週、H17.7.18～H17.7.24)

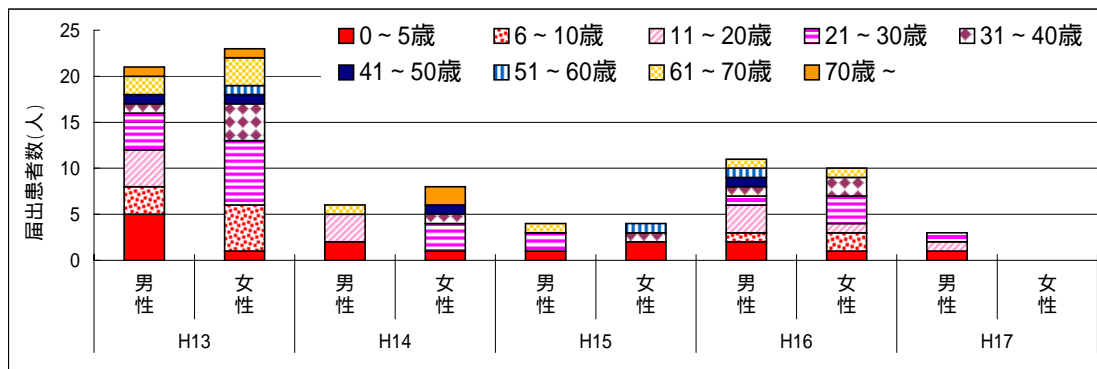


#### 腸管出血性大腸菌感染症(0157等)の予防について

##### < 発生予防に対する注意 >

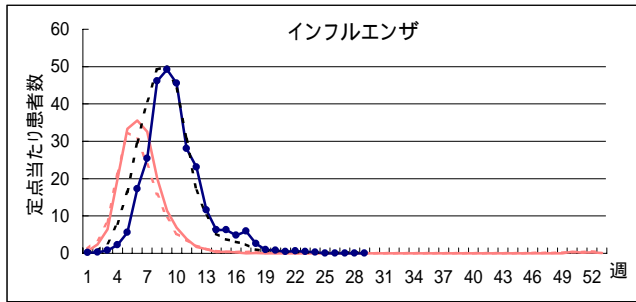
1. **十分な手洗いをする** 排便後、食事の前、下痢をしている子供や高齢者の排泄物の世話をした後は、せっけんを使い流水で十分に手を洗う。
2. **調理時の注意**
  - 1) 食材などは、流水で十分に洗う。
  - 2) 加熱調理時には、食品の中心温度が75℃、1分以上となるよう十分に加熱する。
  - 3) 調理した食品は、なるべく早く食べる。
  - 4) まな板、包丁などの調理器具は、漂白剤や熱湯で消毒し清潔にしておく。
3. **家族内の2次感染を防ぐ** 家族内に下痢などの症状を示す人がいる時は、
  - 1) 便を処理した後の手洗いを十分にする。
  - 2) 入浴時の混浴を避ける。
  - 3) トイレや入浴時のタオルの共用を避ける。

#### 滋賀県における腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年第1週～平成17年第29週)

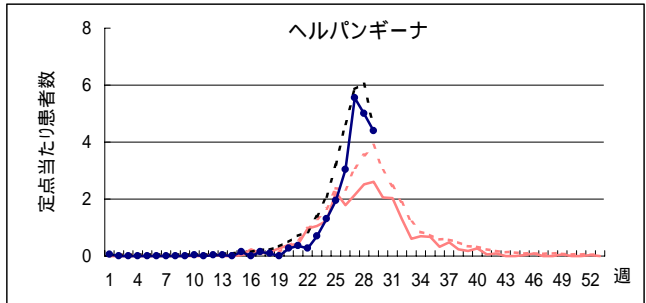
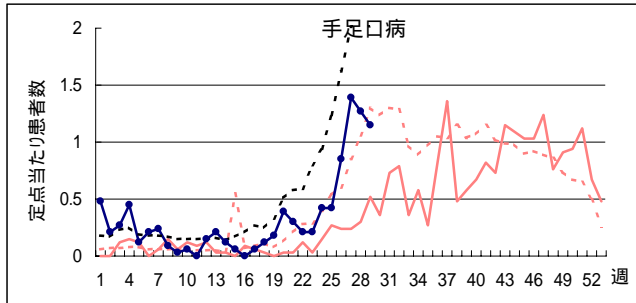
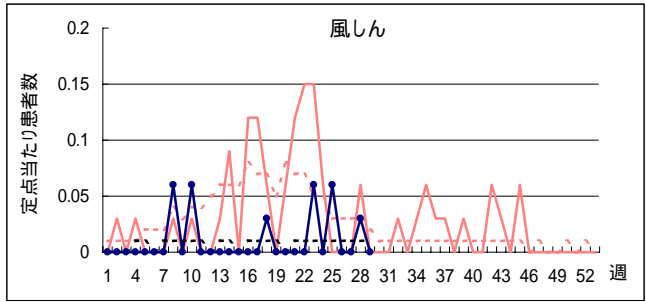
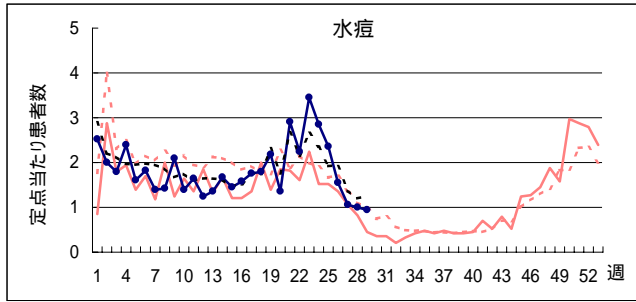
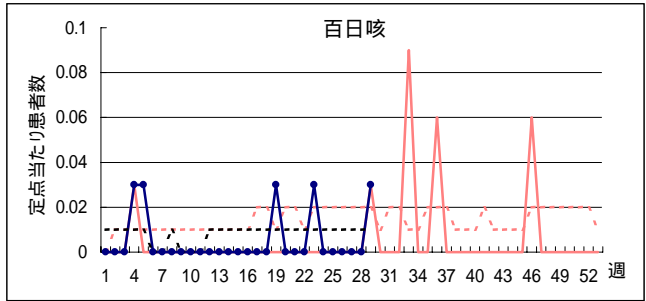
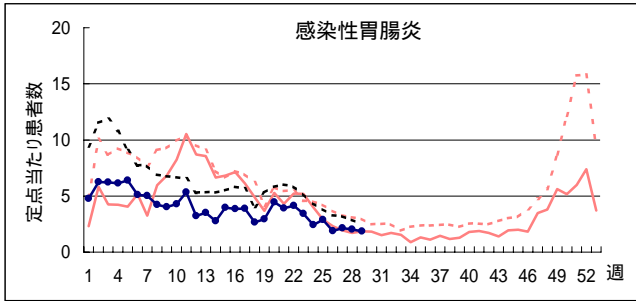
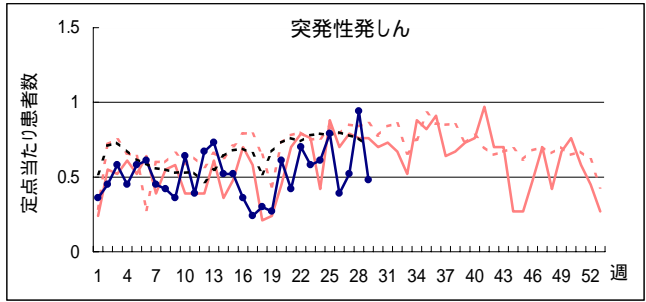
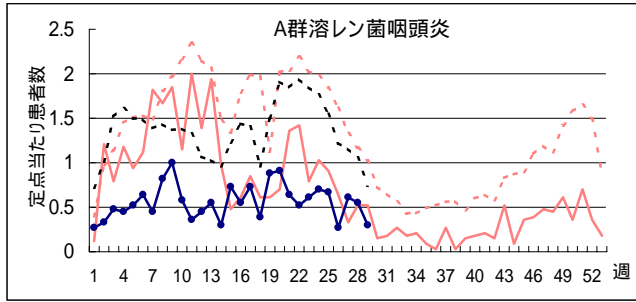
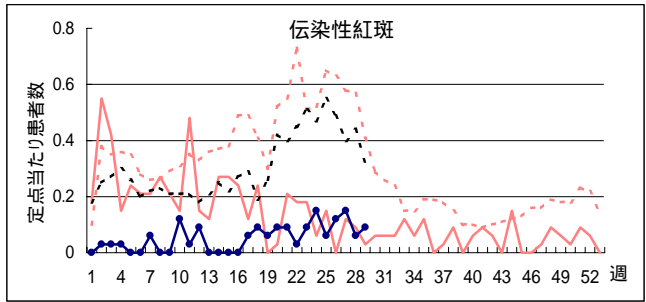
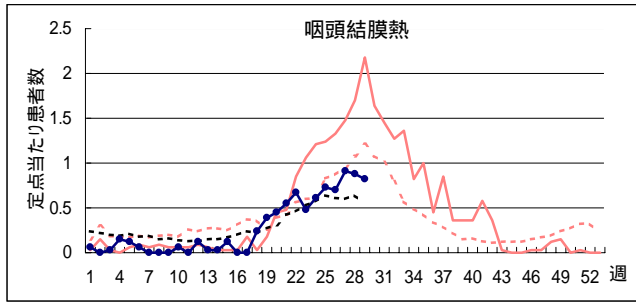


全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ** (<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第29週、H17.1.3～H17.7.24)



H16 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H17 { 滋賀 —●—●—  
       全国 ······



# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第29週、H17.1.3～H17.7.24)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

